

令和6・7年度文部科学省「よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進事業」
令和6・7年度熊本県教育委員会指定
(主管)宇城市教育委員会・宇城市立松橋小学校
宇城市立松橋小学校「道徳教育研究推進校」研究発表会



研究主題

ウェルビーイングを目指して
よりよく生きようとするゆりのきっ子の育成

～自他の考えのよさに気付く
道徳科の授業づくりを通して～

松橋小マスコットキャラクター

私たちが、松橋小学校
の取組を紹介するよ!



おはなちゃん



はっぱくん



ゆりのきさん

主題設定の理由

ウェルビーイングは、第4期教育振興基本計画における重要なコンセプトです。

松橋小学校道徳教育の重点目標

- 「A 希望と勇気、努力と強い意志」
- 「B 親切、思いやり」
- 「D 生命の尊さ」



ウェルビーイングの深化

- ・今が楽しい (個人・現在)
- ・これからの将来に希望を持てる (個人・将来展望)
- ・クラスや地域の人の幸せを願う (社会・共生)
- ・この町・学校・世界を良くしていきたい (利他性・公共・持続)

ウェルビーイングの深化



文部科学省 中央教育審議会
「教育政策におけるウェルビーイング」
京都大学 内田 由紀子(参考)

まつばせ小 ゆりのきっ子3つの心



道徳教育の重点目標にあたる内容項目を児童にも分かりやすい言葉で表した「まつばせ小 ゆりのきっ子3つの心」を各教室に掲示しました。また、年度始めに全校道徳びらき集会を行い、全校児童で確かめました。

ウェルビーイングの実現のために、道徳教育の充実を目指しました。



研究の構想

教育目標

「夢」実現のために 「学び合い・支え合い・高め合う」児童の育成

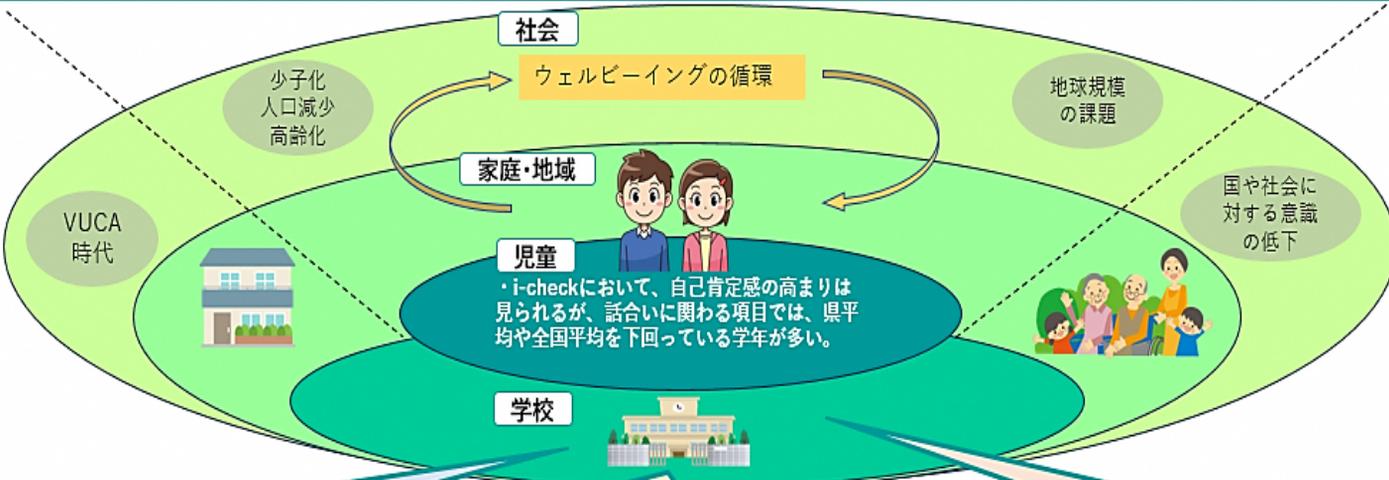
目指す資質・能力

●自分の夢をもち、進んで学び合う力(課題解決力) ●優しく思いやりがあり、支え合う力(他者と関わる力) ●健やかな心と体づくりに励み、高め合う力(自己管理能力)

研究主題

ウェルビーイングを目指してよりよく生きようとするゆりのきっ子の育成
～自他の考えのよさに気付く道徳科の授業づくりを通して～

【仮説】道徳教育におけるカリキュラム・マネジメントを大切に、主体的・協働的に学び合う授業づくりや環境整備・日常活動の工夫を行えば、ウェルビーイングを目指して生きようとするゆりのきっ子が育つだろう。



視点1 道徳教育におけるカリキュラム・マネジメント

- ア 全教育活動を通じて行う道徳教育の推進
- イ 目指す児童の姿を意識し、教科等との関連を図った単元デザインの工夫
- ウ 地域人材の活用や保護者参加型の授業の実施

視点2 主体的・協働的に学び合う授業づくりの工夫

- ア 1単位時間の授業展開の工夫
- イ 自他の考えのよさに気付かせる話し合いの工夫
- ウ 評価の充実

視点3 道徳性を養う環境整備・日常活動の工夫

- ア 学びの日常化を図るための工夫
- イ 話し合い活動を充実させるための基盤づくり
- ウ 研修の進め方の工夫

視点I 道徳教育におけるカリキュラム・マネジメント



ハートは
やさしく
思いやりの心

道徳科の 単元 デザイン

道徳I時間 → **単元化** へ

- ・他教科等との関連を明確化、指導のねらいや内容の焦点化
- ・児童、教師ともに目指す姿を意識! → 指導へ生かす。

実践例 4年道徳科「ええことするのは、ええもんや!」(小学道徳 生きる力4 日本文教出版)

各教科等や体験活動等との関連				
時期	各教科・特別活動等	道徳科	体験活動・日常活動等	児童の心の動き
5月	○学級活動 「学級目標を決めよう」 クラス全員のことを考え、学級目標を立てよう。	〈相手のことを考えて〉 B(11) 相互理解, 寛容 教材名: 「ちこく」 自分の考えを過信せず, 相手の考えや気持ちをしっかりと考え, 自分の考えをきちんと伝え合うことで, 気持ちよく生活できることに気付き, 互いを理解し尊重し合おうとする意欲を育てる。	○全員遊び ○休み時間 友達の気持ちを考えよう行動しよう。	相手の気持ちを考えて, 自分の気持ちをきちんと伝えることが大切だな。
6月	○総合的な学習の時間 「松橋西支援学校との交流」 交流学習を通して, 相手のことを理解し, 思いやりをもって関わることができる。	〈しんらいし合える友達〉 B(10) 友情, 信頼 教材名: 「いのりの手」 信頼し合い, つらいときは力を合わせて助け合い, それに応えようとした二人の友情の美しさを感じ, 友達と互いに信頼し, 助け合おうとする心情を育てる。	○係活動 ○清掃活動 一人一人が学級や学校のために, 考えながら行動しよう。	友達のことを考え, 協力して, 助け合うことが大切だな。
10月	○総合的な学習の時間 「福祉出前講座」 高齢者疑似体験を通して, 障がいのある人や高齢者の立場から「みんなにやさしい町」について考える。	〈ボランティアとは〉 B(7) 親切, 思いやり 教材名: 「ええことするのは、ええもんや!」 親切は, 誰かに見せたり, 褒められたりするのではなく, 困っている人がいたらその人のために役に立ちたいと思うからすることに気付き, 進んで親切にしようとする態度を育てる。	○社会見学 見学先やバスの車内で相手のことを思いやって, 行動しよう。	知らない人であっても, 相手を思いやるのが大切なんだな。いろいろな人に親切にしていきたい。
	○総合的な学習の時間 「認知症サポーター養成講座」 認知症のことを知り, 自分にできることを考える。			
11月	○学級活動 「人権週間について考えよう」 自分の思いを伝えたり, 友達のことを考えたりして生活しよう。	〈思いやる心〉 B(7) 親切, 思いやり 教材名: 「三つのつつみ」 たとえ知らない人であっても, その人の気持ちを想像し, 自分にできることをする思いやりの心のすばらしさを理解し, 人を思いやり進んで親切にしようとする心情を育てる。	○なかよし宣言 ・みんなが楽しい学校にするために大切なことに気付こう。 ・「自分」「友達」みんな大事。よさに気付こう。 ・しっかり聴こう, わかりやすく話そう。	
目指す児童の姿 (期待される姿)				
相手のことを思いやり, 相手のことを考えて進んで行動する児童				

教材に、車椅子の利用者に対する親切が取り上げられていることから、**総合的な学習の時間の特別支援学校との交流、福祉出前講座や認知症サポーター養成講座での学びと関連付けて単元デザインをした。**

関連付けて、
目指す姿を意識

別葉の活用

このような単元デザインは**道徳教育別葉への付加・修正**をもとにして行っている。別葉は、職員室に常時掲示。「道徳の重点目標」に限らず、日々の授業から、職員は別葉を見て、他教科や教育活動との関連を確認し、指導に生かすようにしている。



別葉を確認する職員

単元を通して目指す児童の姿を明記

視点2 主体的・協働的に学び合う授業づくりの工夫



きらり タイム

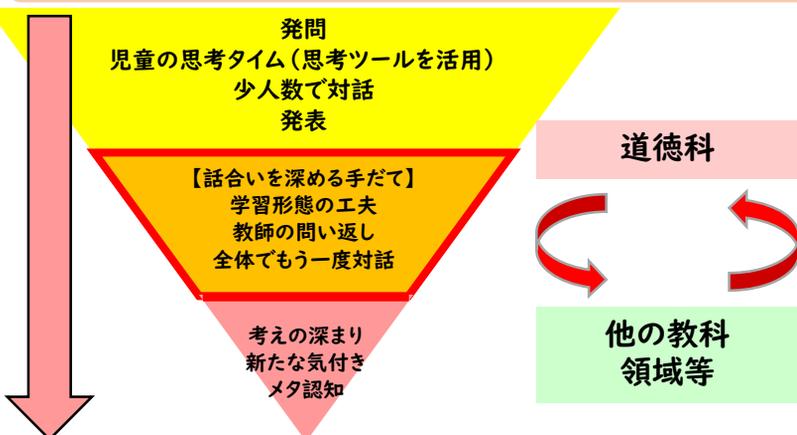
「考え、議論する道徳」の実現に向けて、友達の意見のよさを自分に取り入れ、**考えを深化させるための時間「きらりタイム」**を設定しました。「きらりタイム」は松橋小学校の共通実践です。きらりタイムの話し合いを行う際には、「質問」「気付き」「納得」「よさ」等の視点を与え、児童のやり取りを活性化しながら、考えを深めさせるようコーディネートします。

つよい意志
夢に向かって
がんばる心

実践例 5年道徳科「ヘレンと共に アニー・サリバン」(小学道徳 生きる力5 日本文教出版)

学習過程	学習活動、発問及び児童の反応等	指導上の留意点
展	<p>ヘレンが文字を理解した時、アニーはどんな思いだったのか考える。</p> <p>◎アニーはどんな思いでヘレンを抱きしめたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘレンのために頑張ってよかった。 ・ヘレンの成長を嬉しく思う。 ・何があっても諦めないでよかった。 ・自分のことを信じた甲斐があった。 ・これからももっと頑張っていきたい。 	<p>◇小グループで話し合わせ、多様な考えにふれさせる。</p> 
きらりタイム	<p>話し合いを通して、自身の考えを整理し、友達の考えのよさに気付いたり、それを取り入れたりする。</p> <p>○きらりタイムです。友達の考えでいいなあと思った意見はありませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんの□□という意見は自分にはないものだったので、新たな気付きだった。参考にしたい。 ・〇〇さんの□□という考えに、納得した。自分の考えとも近かったので、より思いが強くなった。 ・〇〇さんの□□という意見がよいと思った。質問があって・・・。 	<p>◇話し合いのキーワード「質問」「気付き」「納得」「よさ」を活用して、児童間の相互指名を行わせる。</p> <p>◇ネームプレートを活用して、立場や考え、誰の意見か等を可視化する。</p> <p>◇ねらいに迫る意見やもう少し深めさせたい考えに対しては、教師が問い返しを行いコーディネートする。</p>
開	<p>「目標に向かって、くじけずに努力を続けるために大切な心」について、自分の言葉でまとめる。</p> <p>○くじけずに努力を続けるために大切な心とはどんな心でしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あきらめない粘り強い心が大切だと思います。 ・自分を信じ抜く心をもてば、目標が達成できそう。 ・最後までやり抜く強い心をもてればよいと思います。 ・困難に負けず、立ち向かっていく心が大切です。 	<p>◇きらりタイムの話し合いを自分の納得解と関連付けさせるようにする。</p> <p>私は、〇〇さんの意見を聞いて、考えが～～と変わりました。</p> 

他教科においても、話し合う力を高める授業づくりの工夫を行っています。



話し合いのキーワード

- 質問：もっとくわしく
- 気付き：はっとした
- 納得：なるほど
- よさ：いいなあ



教室に掲示し児童と共有

視点3 道徳性を養う環境整備・日常活動の工夫

せかいに一つだけの命を大切に
する心

実践例 1年道徳科「お母さんへ」(熊本地震教材 つなぐ)

道徳科の学びについて「日常化」を図るために・・・

帰りの会「心タイム」

児童の心に アプローチする

授業

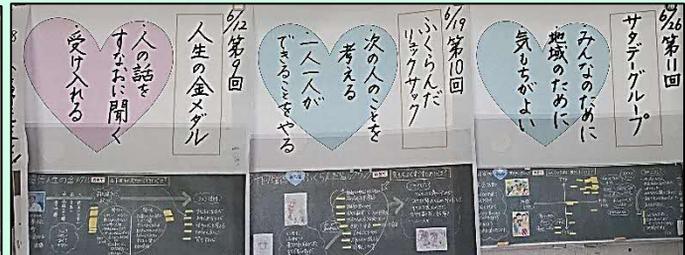


私は、道徳の勉強をして、家族に感謝の気持ちを伝えたいと思いました。なぜかという、生活の中で・・・。

関連付ける

話合いに関する掲示物

教室の学びの跡



話合い活動を充実させるための基盤づくり

道徳性を養うためには、日常の環境や常時活動が大切だと考えました。掲示物は「飾り」ではなく、道徳科と日常をつなぐ「かけはし」と捉えています。帰りの会では「心タイム」を設定し、児童の内面の成長を価値付ける取組も行っています。



その他にも、各教室や廊下に掲示してあります。ぜひご覧ください。

地域の方々コーナー

郷土の偉人コーナー



成果

よりよい生き方を求めて、今、すべきことを考え、自分の判断で適切に動いたり、友だちと協働したりする児童が増えました。

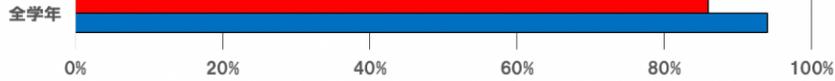


自ら進んで、学校のために働く子供たち

視点1に関する意識

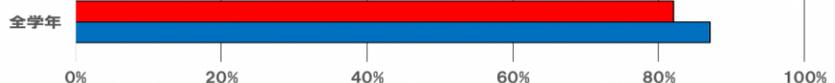
赤R6.6月、青R7.6月

13 道徳で学んだことを普段の生活に生かそうとしている。



視点2に関する意識

11 友達と話し合う時に、自分や友達の考えのよさに気付いている。



視点3に関する意識

18 教室に道徳で学んだ「足跡」が掲示されていると、学習を振り返ったり、生活とつなげて考えたりすることがある。



右記のグラフのように、それぞれ研究の視点に関連が深い質問項目については、いずれも肯定的な回答の割合が増加している。道徳教育の別業を中心に、カリキュラム・マネジメントを行ったり、道徳科を中心に話合いの指導を行ったりしたことが要因である可能性がある。また、道徳科の学びを日常生活につなげようとしている児童が多数いることが分かった。

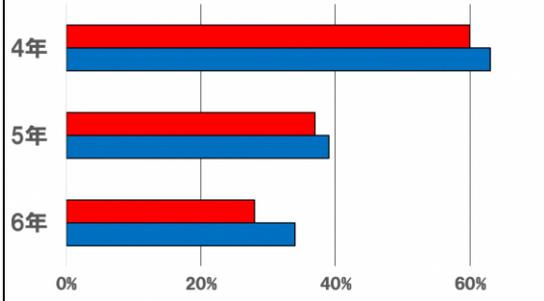
学びの振り返りを蓄積する児童の様子。



課題

「学校生活の中で他の人が発言したり、発表したりするときに質問していますか。」という項目では、5・6年の肯定的な回答の割合は50%未満である。まずは、質問したくなるような課題を設定したり、教師が問い返しをしたりすることから始め、更に、児童同士が質問を通して考えを深めていくような授業づくりを目指していきたい。

11. 学校生活の中で他の人が発言したり、発表したりするときに質問している。



おはなちゃん



はっばくん



ゆりのきさん

子供たちだけでなく、職員たちも道徳の研究を通して「やりがいを感じた」「もっと学びたい」という声が増えました。この輪がさらに広がると嬉しいです。



これからも子供たちも先生たちもみんなが楽しい学校生活を送るウェルビーイングな松橋小学校であってほしいな!

宇城市立松橋小学校
0964-32-0068
Matsubasesyo-d@tsubaki.higo.ed.jp

